

南津守周辺には、工場がたくさんあります。工場の中で、どんなお仕事をしているのでしょうか？南津守小学校3年生のJr記者がレポートします！



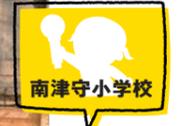
船の下の部分は、まな板の丸いやつみだいでした。

ドライドックに上架した→海上保安庁の巡視船「りゅうきゆう」

# 100年企業にJr記者が行く！& 西成100年企業特集！

100年前、西成区は、田んぼとネギ畑でした。産業が栄える頃、木津川の水利を生かし、工業地としても発展しました。創業100年以上の会社に小学生が探検に！

## まごころこめて生きた船を造る 船の修理と製造



●大阪以外に工場がある。工場の広さは南津守小学校6公分。70年前は工場のちかくにはたけがありました。  
●やすたろうさんが鉄の船を作るため、ここに来た。初めて作った船の名前は眉山丸(びざんまる)。今はもうない。  
●これからはガスの時代、ガスの方がCO<sub>2</sub>が出ないからガスタンクも作っている。  
●船のしゅつりは1週間から1カ月。工場ではたらいしているのは170人。

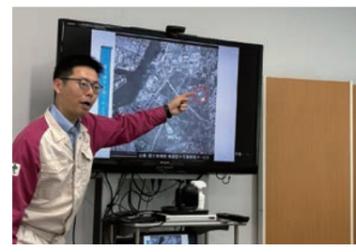


100年間のピンチは？  
お客さんからお金をもらえなかったとき、会社のお金がなくなりました。これからの未来、子どもたちが大人になったときよくなつたと思えるように。

会社の方のお話の中で、昔の航空写真を見ながら、「南津守小学校周辺は、田んぼだったみたいです」と、おしえていただきました。かつて「木造の船」が多かった頃、鉄の船を作りたいので、この地に移転してきたそうです。



船の中にあるエンジンを修理しています。



114TH

株式会社新来島サノヤス造船大阪製造所  
南津守5丁目13番37号



西成区で続いている理由は？  
1935(昭和10)年、近くに造船所が多く、これまで、西成区の人たちに支えられてきました。作っているものは？  
船用ディーゼルエンジン、タービン、発電機、その他一般産業用のホワイトメタル軸受(発電所などで使われる)を月に20個くらい製造しています。作られた「軸受」は世界25カ国で使われています。



107TH

## 軸受・ホワイトメタル 非鉄の特徴を実験



Uアロイの重量感や感触を体験  
Uアロイを溶かして、ふにゃふにゃになって、次に冷たい水に入れたら、また固まって、お花やヘリコプターの型に入れて固めて、それをもらいました。宝物にしたいです。



ホワイトメタルとは？  
スズ、アンモチン、銅、ニッケルの合金で、非鉄の部類です。Uアロイは60℃で溶ける低融点金属で、ガスタンクの安全弁などに使われます。これからの未来では、どのような会社になっていきますか？  
独自の技術をのびして世界で勝負できる製品の開発に努めていきます。

株式会社アサヒメタルコーポレーション  
(旧:株式会社大阪アサヒメタル工場)  
南津守3丁目1番17号



安部研社長とJr記者たち



2025大阪・関西万博では大阪ヘルスケアパビリオン内にブース出展



鋳物の部品はロボットが加工。  
配線などは職人さんが組み立てます。



104TH

## タカラベルモント株式会社

北津守2丁目6番59号

1925(大正14)年、自転車部品の製造販売業として、現在地長橋に創業。戦前は、萩の茶屋から鶴見橋、長橋周辺は、小さな町工場でひしめき合い、商店街も人々も活気に溢れていたという。

得意とするのは製缶、溶接加工部品(鉄鋼・SUS等の製造(主として)、ディーゼル機用外装部品の製造)、鋳造(FCD・FDD・SC)、鍛造、特殊鋼材などを一貫生産している。

2015(平成27)年、一般建築業を取得後は、第二創業として、内装、特殊オブジェなど建築事業へと事業拡大。

製造・建築のノウハウを掛け合わせて、優れた世界観の空間づくりをデザインから行う。



若松耕三社長

## 三恵工業株式会社

長橋1丁目7番21号

## 世界トップ級の理美容椅子! 西成発の電動椅子は世界初!

**なぜ椅子を作ろうと思ったか?**  
もともとは鋳物の工場で七輪(カンテキ)のすなどの鋳物製品を作っていました。その後、理容椅子の部品を作るようになり、椅子に魅力を感じ製造をはじめました。

**なぜ倒れる椅子を作ろうと思ったか?**  
ひげを剃りやすいということや、お客様がリラクゼーションできるなどの理由から、背もたれが倒れ寝るタイプの椅子を作るようになりました。電動で昇降したり、倒れる理容椅子は当社が世界に先駆けて開発したものです。

**いつから海外に進出を?**  
1930年代には海外に輸出をはじめ、1956(昭和31)年にアメリカに会社を設立しました。現在は、13か国・地域に会社や事務所があり、120か国以上の国と取引をしています。



北津守小学校4年生が、校区内にある「工場」へ見学に行きました。

## なじみのあるパッケージ! セロハンテープやオーバンドの品質検査に挑戦!

102TH

### 輪ゴムを作るようになった理由

銀行の方

ひろぞうさんひろぞうさん。  
お札を束ねるゴムがほしいのですが、ありますか?

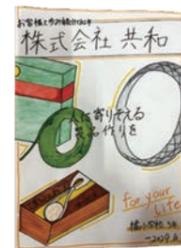
ひろぞうさん

「これでどうでしょうか……」  
(タイヤチューブを輪切りにしたものを)

銀行の方に「お札を束ねるゴムはありますか?」  
ときかれたのが始まりだそうです。



さまざまな測定器で品質検査をおこなう。

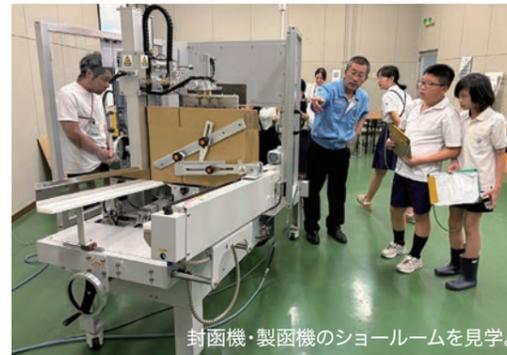


「オーバンド」で知られる輪ゴムは、1917(大正6)年、西成から誕生し、現在国内でのシェア50%を誇ります。

### SDGsの取り組みは?

#### 自然環境に配慮

オーバンドの箱に使っている紙はFSC認定紙という、環境に配慮した再生紙を使っています。



封函機・製函機のショールームを見学。



「検査室」で、耐久性などの品質検査を行った。3℃に設定した冷蔵庫で、セロハンテープの劣化などの検査を体験

## 株式会社共和

橘3丁目20番28号



橘小5年生の社会科の授業では、チームごとに校区内のものづくり企業へ訪問。動画や音声撮影し、編集後、取材成果を発表しました。



### 池下商店の歴史や成り立ち

#### 名物商品 ヒシウメソースとは?

野菜や果実が溶け合って見たことない液体になってヒシウメソースになりました。

#### ソースの種類は2種類!

タマリソースとウスターソース  
大きさそれぞれ3種類ずつ!

#### ヒシウメソースの名前の由来は 菱形の中に梅のマーク



酸っぱい代表であった「梅」をロゴマークに。



打栓機を体験

## 株式会社池下商店

松1丁目10番16号

102TH

## 庶民に愛され続け百年 地ソース「ヒシ梅」ブランド

大正時代後期に食酢の製造業として創業。昭和の洋食文化とともに、ソースの製造を始めた。今もなお愛される、串カツ・焼きそばに合う「ウスターソース」と、とろみのある「タマリソース」は西成ブランドの代表。



100年企業にJr記者が行く! & 西成100年企業特集!

# Nishinari 100 Year Anniversary

106TH



1919(大正8)年、西区で鉄管・バルブ商社として古林商店を創業。1939(昭和14)年、販売部門と製造部門を分離し、津守の現在地に製造部門を移転、古林工業株式会社を設立し、主に溶接式管継手の製造販売を営んでいる。

## 次の百年も継手とともに

溶接式管継手とは社会のインフラに欠かせない「水やガス、油、空気」などを送る管と管、あるいは配管部材を接合する製品で、鋼製が主流であるが用途により様々な素材(ステンレスや合金)、形状、サイズなど4万アイテムを製造している。製品はビル内や地中に張り巡らされており、一般的に目にする機会は多くない。



古林達也社長

2014(平成26)年にベトナムに製造工場を設立し、アジアの拠点とした。また、ベトナムからの外国人技能実習生を積極的に受け入れ、日越を「継いでいる」。

他にない強みとして環境にやさしい継手の拡充を進めている。



1962年に世界で初めて導入した「液圧バルジ成形機」は50年間稼働し産業記念物として保存

精密さで信頼される FKKマーク

## 古林工業株式会社

津守3丁目3番17号

142TH



2800kgまで積む43人乗りエレベーター

株式会社コシハラは、1883(明治16)年、船具商として創業した。大阪築港の建設を機に船舶用に加え、土木、鉱山用ウインチの製作を開始し、現在は建設業界を主軸に全国で活躍している。

そんな企業が掲げる理念には未来に向けて「いままでにないもの」の創造に挑戦し続けるという考えがある。挑戦の中で生まれた代表的な製品が工業用エレベーターだ(写真)。このような製品は今や高層ビル等の建設には欠かせない存在となっている。



越原慎二社長

## 株式会社コシハラ

花園南1丁目7番20号

育まれた暖かみが人脈形成のカギだと述べており、とても印象的だった。遠くに見える建設中の高い建物、その工事の現場には未来を運ぶエレベーターが輝いているに違いない。

## 西成区発！ 私たちの未来を支える 力強く優しい風！



風を変えよう・風を創ろう・幸福の風を広げよう！

106TH



泰山聡一郎社長

1919(大正8)年5月、南区(現浪速区)難波に創業した同社は、同年11月の工場移転以来、106年以上その歴史を西成の地で歩んできた。「造船所通」と呼ばれる地域に程近く、船舶のエンジンに用いる送風機を中心に手掛ける会社だ。

同社を取り巻く100年は、わが国における「造船不況」に大きく影響をうけることもあったが、9代目社長の泰山聡一郎氏は、次の100年に「私たちが直接同社の製品を見る機会は減多になくとも、手にする商品の輸送や加工、電力などを支えるいわば縁の下の力持ちだ。営業課長の坂井優一氏は「若い人が積極的な会社」と語る。すぐに周囲が助け合う空気が、世代を問わず醸成されているそうだ。

## 株式会社大阪送風機製作所

津守2丁目1番41号

## 西成区で生まれて100余年！ 地域に愛される酒屋&居酒屋！

山王市場通商店街を東に進むと見えてくる、1軒の酒屋が「ナカジマ酒店」だ。1924(大正13)年に創業してから100周年を迎え、現在の店主である中島氏で4代目になる。100年以上続くその背景には、先代から受け継いだ「つながりを大切に」という精神と「お酒のプロ」としてのたしかな専門性がある。



(左)桑原大専務(右)中島良介社長

あわせて経営されている酒屋併設の居酒屋では、酒屋で取り扱っているお酒を注文することができ、最近話題の西成区で醸造されたクラフトビールも楽しむことができる。

そんな「ナカジマ酒店」が目指す未来の姿を、中島氏に伺ったところ「面白い」お店を追求したい、と答えられた。未来に向けてお酒を絡めながら色々なチャレンジを考えているとも話されていることから、今後の取組みに目が離せない。



たくさんの種類のお酒が並ぶ店内



101TH

## 株式会社ナカジマ ナカジマ酒店

山王2丁目8番13号